

会 議 録

会議名	令和2年度 第3回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	令和2年10月16日(金) 15:00~16:45
開催場所	丸亀市役所 本館2階議会委員会室
出席者	<p>出席委員 岩永十紀子、鹿子嶋仁、佐藤友光子、高濱和則、井上達也、嵯峨根真千子</p> <p>事務局 市長公室長 横田拓也 (市長公室秘書政策課) 課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、担当長 宇野大志郎、主任 大川智</p>
議 題	<p>1. 事業評価について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	1名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、第3回目の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。議事に入ります前に、本日の会議資料を確認します。</p> <p>以後の議事につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、ヒアリングに入ります前に、現在6名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき会議が有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。事業評価の方法などについて確認しておきたいと思っておりますので、事務局より説明をお願いします。</p>
宇野	<p><資料に基づき説明></p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、事業①「小中・地域連携教育の推進(生涯学習課)」から行います。</p>
岩永委員	<p>拡充を選んだ方のご意見はどうですか。</p>
鹿子嶋会長	<p>コーディネーターの確保に苦労されているのは分かりました。どのような方法で確保していくかは課題だと思います。</p>
岩永委員	<p>コストを拡大してでも、コーディネーターの人員を増やしたり、充実を目指すという意味での拡充ですね。</p>
鹿子嶋会長	<p>次の学校教育課の範疇では、財政的な課題があるようでしたので、予算を増やしても良い感想を持ちました。</p>
高濱副会長	<p>拡充するうえで、この事業の何にコストをかければ効果があがるのか、何が足りな</p>

	いのが明確にできれば良いと思います。
鹿子嶋会長	ヒアリングの際に、財政的な状況も始めに確認させていただきましたが、この事業に関しては、コストに関して課題があるといった印象はありませんでした。
井上委員	全ての校区で実施できているわけではなく、また、地域のボランティアの実情もあるのですが、科目もバラバラだったので、公平にするために、少しずつ校区や実施科目を増やしていけば良いのではないかという意味で、拡充を選びました。
鹿子嶋会長	<p>それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。</p> <p><必要性:妥当6・改善0、効率性:妥当6・改善0、有効性:妥当2・改善4></p> <p><事業の方向性:拡充1・維持5></p> <p>本事業については、「維持」という結果になりました。</p> <p>次に、事業①「小中・地域連携教育の推進（学校教育課）」にまいります。</p>
高濱副会長	<p>今後は定年延長で、ある程度カバーできる部分もあるでしょうが、現時点ではこの事業で雇用している退職教員等のモチベーションとともに、良い人材の確保の観点からも処遇の改善は必要です。</p>
岩永委員	<p>効率性の点では、費用をかけ過ぎていて妥当でないというケースではありません。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。</p> <p><必要性:妥当6・改善0、効率性:妥当4・改善2、有効性:妥当6・改善0></p> <p><事業の方向性:拡充4・維持2></p> <p>本事業については、「拡充」という結果になりました。</p> <p>次に、事業②「離島における生活環境の向上」にまいります。改善の方のご意見はどうですか。</p>
岩永委員	<p>コメントを見る限りでは、コストを削減すべきという改善の意見はありません。今のコストのなかで、IT企業誘致のための活動や既存事業の統合などの観点から改善という意見があります。</p>
高濱副会長	<p>移住者数の目標10人の達成を、事業の効果に即繋げるのはどうかと思います。何をもって活性化と捉えるかです。</p>
鹿子嶋会長	<p>生活水準のためにある程度実施しなければならない部分は除いて、島の活性化について効率的なやり方があるのではないかという意見があります。</p> <p>それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。</p> <p><必要性:妥当6・改善0、効率性:妥当2・改善4、有効性:妥当4・改善2></p> <p><事業の方向性:維持4・改善2></p>

	<p>本事業については、「維持」という結果になりました。</p> <p>次に、事業③「中心市街地の活性化」にまいります。全体的に、今までの取組を続けていても状況は変わらないという意見が多いように思います。</p>
高濱副会長	<p>良くしたい気持ちはみんな同じです。ただ、やり方として同じことをして本当に改善できるのかという単純な疑問です。違う考え方を持つことも良い、そうした議論ができるようにしておく必要があります。コロナの影響もありますが、高松市ですら丸亀町で空き店舗が出始めています。</p>
鹿子嶋会長	<p>いきなりコスト拡大ではなく、まずは方向性を見直しも必要という意味での改善ですね。</p>
嵯峨根委員	<p>私も同じ意見で、見る視点を変えることが大切だと思います。悠長に構えている時間はなく、早急に変えていくにはコストをかけることも必要と思い、拡充にしました。</p>
佐藤委員	<p>方向性やビジョンがないと無駄にコストをかけることにもなります。事業の見直しも必要です。</p>
鹿子嶋会長	<p>今の閉塞状況を打破しないとどんどん尻すぼみになってしまう、加えてコロナの追い打ちもあるという状況で、思い切ったことをやるにはコストのかかる場面もあると思いますが、何をやるのかという具体性はありません。</p>
佐藤委員	<p>ハードならば、丸亀町商店街のように莫大な費用をかけるという考え方もあり得ると思います。</p>
嵯峨根委員	<p>新しく整備する予定の「みんなの劇場」を活用するためにコストをかけるという方法もあります。</p>
高濱副会長	<p>この問題は、解決策が分かって取り組むものでなく、分からないから取り組まなければならないもので、ある程度の予算がないと動けない面はあります。</p> <p>担当課の現在の取組が悪いわけではないので、事業は継続しつつ、市役所も若く優秀な職員がたくさんいると思いますので、全く違う視点で、令和の時代の新しい城下町づくりのたたき台をつくるプロジェクトを考えてみてはいかがでしょうか。</p>
鹿子嶋会長	<p>確かに本気で取り組むのであれば、一つの課でやることは難しく、何か別のプロジェクトなりチームなりが必要だと思います。一方で、現在担当課で実施している空き店舗などの取組は継続せざるを得ないと思います。</p>
岩永委員	<p>担当課の取組としては維持と評価しつつ、コメントにそのような意見を加えていただければ良いと思います。</p>

鹿子嶋会長	<p>それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。</p> <p><必要性:妥当6・改善0、効率性:妥当0・改善6、有効性:妥当0・改善6></p> <p><事業の方向性:維持4・改善2></p> <p>本事業については、「維持」という結果になりました。</p> <p>次に、事業④「一般介護予防事業の充実」にまいります。</p>
井上委員	<p>担当課から多くの取組自体に関する説明はいただきましたが、ゼロベースで見直して、積み上げていくべきという意味で廃止としました。意味合いとしては改善です。</p>
佐藤委員	<p>予算をかけて実施した内容からどういう効果が得られたかの説明がなかったということですね。</p>
高濱副会長	<p>いただいた資料を見る限り、事業そのものは十分な取組が実施されていると思います。ただ、例えば、体操に何人参加したという観点ではなく、介護の段階が何人、何パーセント改善されたというような切り口から整理していただくと、納得できたかと思います。</p>
井上委員	<p>ケーブルテレビを活用した啓発についても、地元のメディアと協力した取組自体は良いかと思いますが、視聴率は分からないとのことでした。</p>
岩永委員	<p>知り合いの丸亀市の高齢者の方に、CMの体操の内容を聞いてみましたが、返ってくる反応は鈍く、あまり印象が残ってないようでした。</p>
嵯峨根委員	<p>事業内容自体は良いのですが、資料や情報の出し方に問題があると思います。</p>
岩永委員	<p>運動と口の健康に特化するの時代遅れで、厚労省からも方針の転換は何年も前に出ているのもう少し研究していただきたいと感じました。認知症予防など、人との関わりや役割といったものが心身共に健康年齢を高くすると言われていています。担当課によりますと、運動に来た人に対しておしゃべりの場を設けるなどコミュニケーションに努めているとのことですが、計画的に取り組む体制が見えてこない、国の動きを受けたものとは言えないので、内容は大いに改善していただきたいです。</p>
鹿子嶋会長	<p>目的が変わりつつあることは担当課も説明されていましたが、中身が伴っていないように感じました。</p>
岩永委員	<p>計画内容自体を見直す必要があると思います。理学療法士の意見が強いとそうなりがちなので、ケアマネージャーや保健師などの新しい考え方も活かして欲しいです。</p>
高濱副会長	<p>団塊の世代など、高齢者がどんどん増えてくる意味で言うと本当は拡充すべきもの</p>

	<p>だとは思いますが。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。</p> <p><必要性:妥当6・改善0、効率性:妥当0・改善6、有効性:妥当0・改善6></p> <p><事業の方向性:維持2・改善4></p> <p>本事業については、「改善」という結果になりました。</p> <p>次に、事業⑤「コミュニティ活動の活性化と自治会加入促進」にまいります。</p>
高濱副会長	<p>自治会に入らなければ、コミュニティ活動ができないわけではないので、繋げることで自体に問題があります。自治会は自治会で残したら良いと思いますが、未加入者が増えていくことを考えると、切り分けて推進するのが筋だと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>自治会の将来については、みなさんも明るい展望を持っていないように見受けられました。</p>
佐藤委員	<p>自治会の必要性について、根本的な議論から始めないと消滅に向かうのみです。一方で、コミュニティ活動自体も、結局自治会のコアメンバーが担っている実情もあると思います。</p>
岩永委員	<p>それは、コミュニティにもよるかと思います。規模の小さいコミュニティだとそうした閉鎖的なところもあるかもしれません。</p>
高濱副会長	<p>組織化されている方が楽なことは分かりますが、コミュニティの活性化と繋げることに無理があります。自治会未加入者がコミュニティの活性化を阻害しているかというところではありません。コミュニティの活性化はもちろん必要です。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、他に意見もないようですので、採決に入ります。</p> <p><必要性:妥当6・改善0、効率性:妥当0・改善6、有効性:妥当0・改善6></p> <p><事業の方向性:維持0・改善6></p> <p>本事業については、「改善」という結果になりました。以上で、全ての事業についての評価が終わりました。</p> <p><今後の予定、手続きについて協議></p>
鹿子嶋会長	<p>それでは今後の予定ですが、まず、事務局より報告書(案)を送っていただき、ご意見等があれば報告していただきまして、最終私の方で確認して決定するという流れでよろしいでしょうか。市長への報告書提出は、私と副会長で対応します。</p> <p>それでは、以上で本日の会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>